



# ハラールを学ぶ

いま「イスラム」が熱い！

日本を訪れる、東南アジア諸国からのイスラム教徒の観光客増加にともない、ホテルでの礼拝所の設置や、そのほかイスラムの戒律に則った対応が広がりを見せています。信仰にもとづく日常生活は、一見すると私たちの生活とは大きく異なります。

しかしその内容を知れば、イスラムへの理解はもっと深まるのではないのでしょうか。そこで今回は、近年、日本でも耳にする事の多い「ハラール」について、ご紹介します。

## 「ハラール」って何？

イスラム社会では、生活全般の行動は神に「許されている」と「禁じられている」ことに分けられます。「ハラール」は、イスラムの教えで「合法である」「許されている」という意味のアラビア語で、神に従って生きるイスラム教徒（ムスリム）にとって、生活をするうえで最も大切に考える考え方です。そして、「ハラール」の対極に、「禁じられている」ことを意味する「ハラム」があります。

## イスラム文化を知るチャンス

イスラム社会、イスラム文化を理

解するためにもハラール・ハラムを知ることが大切です。例えば、日常生活

においてハラムとされる代表的なもの、豚肉とお酒です。豚肉以外の肉でもイスラムの教えに則った食肉処理、加工処理のなされていない肉は、ハラムとみなされます。そして、ハラールの食べものとは、ただ単に「許されている食べもの」ということではなく、神の教えに基づく食べものであること、つまり「清潔で、安全に管理された健康的な食べもの」を指すのです。また、お酒がハラムであるのも、酔ったの害を避けるため、これもまた健全な暮らしを後押しするものです。

## 共通項が多い日本の文化

近年、イスラム教徒の多いインドネシアやマレーシアから観光のために日本を訪れる旅行者が増えています。観光庁はこれらの人たちに対応するため、2015年、飲食店や宿泊施設に向けて『ムスリムおもてなしガイドブック』を作成して配付しました。

ガイドブックでは、ムスリム旅行者に対して「おもてなし」を心がけた柔軟な対応が大切であることが示され、ムスリムの生活習慣を理解するうえでとくに注意すべきことをいくつか挙げています。例えば、イス



### ハラムの食べものの例

- ・豚肉
- ・死んだ動物の肉
- ・イスラム方式に従って食肉処理されなかった動物の肉と派生するもの
- ・酒
- ・その他、かぎつめのある動物など

### 「イスラム」とは

「イスラム」とは服従を意味するアラビア語で、「唯一絶対神(アッラー)に従う」ことを意味し、1400年前にムハンマド(マホメット)が唱えた教えです。彼は40歳のときに神の啓示を受け、亡くなるまでこの教えを広めました。帰依した人たち(信者)はムスリムと呼ばれ、この啓示を受けた神の言葉を記録した「コーラン」(聖典)と、ムハンマド自身が日常生活のなかで語った言葉や行いをまとめた「ハディース」は、ムスリムにとって最も重要な経典です。

キリスト教や仏教と大きく異なるのは、イスラムにおいては日々の行動もその信仰に則って行うことが義務づけられていることです。

ムスリムとして守らなければならないことは、次の5つです。

- ①自らイスラム教徒であることを告白する信仰の表明
- ②礼拝所における1日5回の拝礼
- ③心身を清めるための断食
- ④信徒間による相互扶助の喜捨
- ⑤メッカへの巡礼

## 衛生面で社会貢献を目指す タケックス(株)

イスラム世界では禁忌とされるアルコール、そのアルコールを約50%含んだ衛生剤「タケックスクリン」でハラール認証を取得したのが、オイスカの特別法人会員のタケックス株式会社(本社・大阪)です。認証取得までのお話を、同社ハラール事業本部部長の菅原弘誠さんにうかがいました。

### ——「タケックスクリン」(下写真参照)の特長は?

アルコール含有量40～50%のエタノールに、竹の表皮から抽出したオーガニック素材のエキスを加えたもので、日本では口内摂取しても安全とされる基準を満たした商品です。

### ——なぜ「ハラール認証」を取得しようとしたのですか?

衛生剤の国内市場は競合製品が多く、価格競争が激しいこともあり、海外にマーケットを広げる必要がありました。とくに清潔好きなイスラムの国々には、将来的にビジネスチャンスがあると考えられたことから、ハラール認証の取得が不可欠でした。

### ——取得までの経緯は?

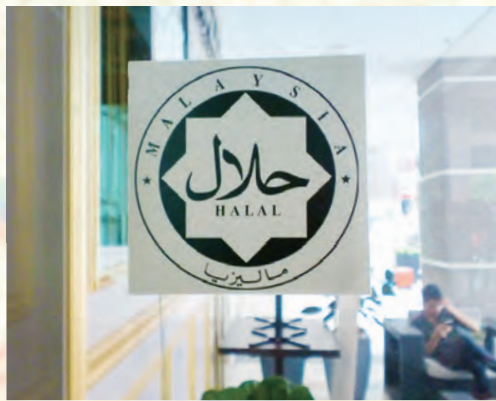
エタノールを含む衛生剤でのハラール認証可否を日本の認証機関に確認したところ、「無理」「あり得ない」との回答でした。そんな中、オイスカの法人会員である当社は、オイスカがマレーシアのマラ公団と開催したビジネスフォーラムに参加する機会を得、そこで出会ったマレーシアの方を通して州政府の宗教部やJAKIM(ジャキム/マレーシアの公的認証機関)とやり取りを繰り返し、細かな情報提供などを実施することで認証可能性の糸口があることを実感。それを受けて、当社の岡田久幸社長は、認証制度を国として設けた先駆けであるマレーシアでのハラール認証取得を決断。取得に向けての活動をスタートしたのです。いろいろ準備を重ねて2013年から具体的な申請準備を開始し、16年に認可されました。

### ——今後について

企業として必要な利益を上げる必要はありませんが、「タケックスクリン」を理解して認証を応援してくださったオイスカに報いるため、これからも衛生面での社会貢献や子どもたちへの衛生教育なども併せて行っていききたいと思っています。

### ——認証についてのアドバイスを

ビジネスの目線だけでハラールをとらえると誤解したり間違った方向に進んでしまう可能性があります。ハラールとは、イスラム教の人たちにとってどんな意味があり、どうして重要なのか、それらの背景をきちんと理解することが必要だと感じています。



入り口に貼られたハラールマークを目印にレストランを選ぶ(マレーシア)

ラムの教えでは食事は右手を使うとされているため、日常生活でも右手を優先的に使う人が多いこと、犬になめられると汚れると考えられていることから、犬を嫌がるムスリムが多いことなどが紹介されています。訪日経験のあるムスリムが日本滞在中に「食」について困ったのは、

ほとんどのメニューが日本語だったこと。また、英語で表記されているもノンポーク、ノンアルコールの表示がなく、料理名からだけでは自分たちが食べられるものであるかを判断できないといえます。このように、ムスリムが安心して食事のできる店が少ないことは困ると述べる一方、日本は清潔で、対人関係を重んじるところはムスリムと同じだと語ります。

日本のイスラム文化研究者も、ムスリムは勤勉で嘘をつかず、清潔好きで、周囲の人びとにも親切なことからも、ムスリムと日本人には相違点が多いといえます。

### ハラールの認証

加工食品が増え、技術や流通が発達するにつれて、ハラールかどうかの判別が昔のように容易ではなくなっ

てきています。そこで専門家がハラールであると保証することが必要となり、1970年ごろにマレーシアでハラールを認証する制度が始まりました。

この制度のおかげで、ムスリムは安心して食事や買い物ができるようになりましたが、ハラール認証の承認を得るには、さまざまな厳しい基準をクリアしなければならず、取得はかなり厳しいのが実情です。現在、ハラールの認証を行う機関は日本にもいくつかあります(別表「代表的な日本の認証機関」)。

私たちにとってはハラールは縁のないことのように感じられますが、日本でもハラールフード(認証を受けて流通している食品)などを目にするが増えてきた今、ハラールを通してイスラム文化への理解を深めるきっかけにはいかがでしょうか。

### 代表的な日本の認証機関 (ハラール・ジャパン協会HPより作成)

|                          | 対応国 | マレーシア | シンガポール | インドネシア | UAE |
|--------------------------|-----|-------|--------|--------|-----|
| 宗教法人 日本ムスリム協会            | 東京都 | ●     | ●      | ●      |     |
| 宗教法人 イスラミックセンター・ジャパン     | 東京都 |       |        |        | ●   |
| NPO法人 日本ハラール協会           | 大阪府 | ●     | ●      |        |     |
| マレーシア ハラール コーポレーション株式会社  | 東京都 |       |        |        |     |
| NPO法人 日本アジアハラール協会        | 千葉県 | ●     | ●      |        |     |
| 京都ハラール評議会                | 京都府 |       |        |        |     |
| 宗教法人 日本イスラム文化センター/マスジド大塚 | 東京都 | ●     |        |        | ●   |

